

くろゆり通信



第48号 平成19年 8月発行
発行者 国土交通省中部地方整備局
天竜川上流河川事務所
小渋川砂防出張所
小渋川支部安全協議会

第16回 中央構造線サイクリング大会

今年で16回目を数える「中央構造線サイクリング大会」が、去る7月28・29日の2日間にわたり、盛大に開催されました。

1日目のコースは、桜の名所で有名な高遠城址公園(伊那市高遠町)をスタートし、美和ダム湖(伊那市長谷)を右手に見ながら分杭峠を越え、大鹿村大河原の交流センターまでの約45km。2日目は、大鹿村大河原から地蔵峠を越え、飯田市南信濃までの約46km。通称“秋葉街道”と呼ばれ、2つの高い峠を越える起伏に富んだタフでワイルドなコースに、全国から体力自慢の猛者達が集結しました。

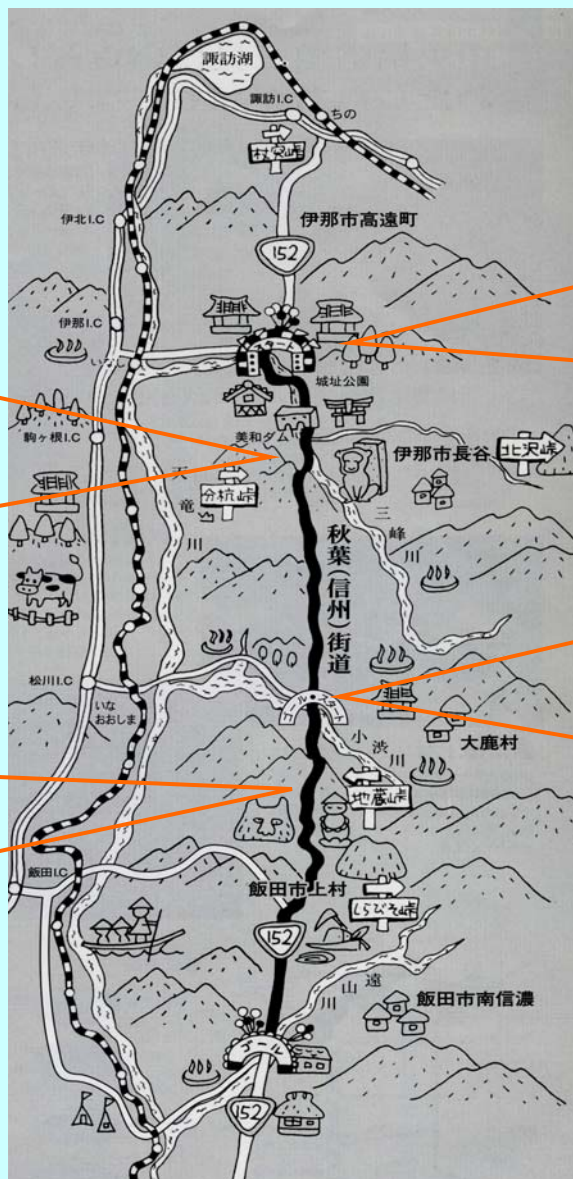
今回のくろゆり通信では、大会の様をお伝えしたいと思います。(写真提供:大鹿村産業建設課)



ゴール目指して奮闘中!



親子での参加者も年々増加中です。



スタート地点
(1日目)



スタート地点
(2日目)

防災ガイド

ここ最近では伊那谷地方も猛烈な暑さに見舞われ、夏バテ気味の方も多いかと思います。しかし、“暑さ寒さも彼岸まで”のことわざにあるように、もう間もなく夏も終わりを迎えようとしています。それは反対に、本格的な台風シーズンの到来を意味するものです。これから秋にかけての時期は台風が多く発生し、大雨・強風等による災害も予想されます。また、台風の影響による河川の氾濫や土石流、地すべり、がけ崩れといった災害が起こりやすくなります。

土砂災害から身を守るには、防災情報を正しく理解し、避難経路や避難場所を確認しておくなど、日ごろの備え、そして、いざというときの早めの避難が大切です。土砂災害に遭わないよう、「日ごろの備え」と「早めの避難」をぜひ心掛けましょう!

土砂災害には、土石流、地すべり、がけ崩れ等があります。前触れとして次のような現象が見られます。

○土石流 山鳴りがしたり、雨が降り続けているのに川の水位が下がったり、川の水が濁り、流木が混じったりします。また異臭がすることもあります。

○地すべり 地面にひび割れができたり、沢や井戸の水が濁ったり、斜面から水が吹き出したりします。

○がけ崩れ がけから水がわき出たり、がけに亀裂が入ったり、小石がパラパラ落ちてきたりします。

「土砂災害の注意信号は雨」～雨の降り方に注意!～

土砂災害の多くは、雨がきっかけになって起こっています。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上になったら要注意!大雨や長雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。

ただし、気になる箇所を点検に行くときは決して一人では行かないでください!!

普段から家族やご近所できざと言ったときの助け合いについて話し合うことも大切です。

小渋川砂防出張所管内の砂防施設等の維持や修繕などの応急的に対処しなくてはならない事について工事を行っております。なにかお気づきの点がありましたら下記までご連絡ください

平成19年度 単価契約小渋川管内緊急作業
大協建設株式会社 現場代理人 堀内隆浩



【本 社】0265-39-2226
【E-mail】taikyo@osk.janis.or.jp